

No.	A05
タイトル	八重洲・京橋・日本橋地区におけるエネルギーネットワークの検討
所属・名前	都市地下空間活用研究会 大村 敏・横塚 雅実
キーワード	① エネルギーネットワーク ② エネルギーの面的利用 ③ 自立分散型エネルギー供給システム
<p>本地区は東京駅に近接し、国際金融ビジネスセンターとして、今後、再開発等による都市活動の活発化と建物床面積の増加等で、エネルギー需要の増大が予想されている。</p> <p>このため、環境負荷の小さな未利用・再生可能エネルギー源の利用と、エネルギーの地域自立性や供給の多重化が求められる。</p> <p>本調査研究においては、中央清掃工場の排熱を活用した幹線エネルギーネットワークと、地区内の再開発事業等に合わせたエネルギーネットワークシステムの検討を行った。</p> <p>この結果、幹線ネットワークとしては、旧 30 間堀通りの地表近くのルートが望ましいことが検証された。また、地区内の自立分散型エネルギー供給システムの導入を提案し、ルートの技術的検討により配置の可能性と、再開発事業等との一体的整備の可能性を検討した。</p> <p>尚、検討に当たっては早稲田大学尾島研究室の協力を得て行った。</p>	